PMI実行支援



PMIは、組織体制、情報システム、人事と多岐に亘る分野をカバーする必要がある一方、スピード感を持った遂行が重要であるため、「高い専門性」と「適切な進捗管理」が重視されます。
三菱総合研究所は、それぞれの分野毎に経験豊富なコンサルタントを参画させるとともに、過去の蓄積を踏まえた独自の各種ツールを用いて、PMIの遂行を確実に支援します。
また、経営統合の基本構想策定～詳細設計・実務支援～統合後のフォローまで、各段階における事務局的支援のみならず“エモーショナルな領域”にも十分配慮した組織融合・統合作業の支援を行います。

	課題	MRIの貢献
1	**統合の基本構想策定を両社で検討するも、議論の収拾がつかない** ● 主に社名・ブランド名の存続や一部人事制度などのエモーショナルな領域が要因で議論が進まない傾向にある	**「ロジカル」と「エモーショナル」双方を重視した統合協議を支援** ● 両社の“譲れない事項“も議論の俎上にあげ、検討メンバー全員が腹落ちできる結論導出をお手伝いします
2	**両社従業員の意識・組織文化統合がうまく進まない** ● 異なる処遇や働き方などが要因で、両社従業員の協働が推進されない	**統合完了までの期間で両社従業員の協働を支援** ● 基本構想や詳細設計を基に、試験的協働に向けた計画の立案・実行をお手伝いし、スピーディな組織統合を図ります
3	**シナジー創出に向けた取組や仕組み化を推進できない** ● 現場従業員がシナジー創出に向けて何を実施すべきか具体的に理解していない	**シナジー創出に向けた企業間の実行計画づくり・推進を伴走** ● 統合の狙い・判断基準を提示しながら現場のシナジープロジェクト推進を伴走支援し、シナジーの検証やスムーズな業務推進をお手伝いします

MRIは
両社の譲れないもの・組織特性を踏まえた上で、
着実に統合シナジーが実現される組織統合をご支援します

▪ 基本構想策定支援～詳細設計・実務支援のプロセス例 ▪

支援の概要

フェーズ1 基本構想策定

- 経営統合での重要事項に関する合意形成
- 統合スキームの検討支援
- 主要マネジメント制度の比較分析・統合方針策定支援

フェーズ2 詳細設計・統合業務

- 詳細設計・統合実務に向けたタスクフォース組成支援
- タスクフォース活動支援（論点整理・進捗管理・ファシリテート・対立緩和）
- 統合委員会運営支援

フォロー

- 積み残し事項の対応支援
- 統合効果検証（シナジーの定量的把握）
- モラールサーベイによるモチベーション向上フォロー

基本構想策定（フェーズ1）の詳細

［アウトプットと最終アウトプット］

Ⅰ. 新会社の戦略・組織の明確化

① 統合組織の姿（統合時点/中期的将来における売上・利益・事業拠点・人員等）
② 統合上の重要課題の整理と対応方針
③ 統合時点での組織体制（部レベル程度の組織図と配置人員数のイメージ）

Ⅱ. マネジメント制度・体制の基本方針策定

人事制度・会計処理・業務プロセス・情報システム
- 2社制度・システムの比較分析（実態把握）
- 制度・システム統合上の課題
- 制度・システム統合の方向性

Ⅲ. 法的対応

①組織統合スキーム
②株式交換もしくは合併比率
③法的対応に関する課題と対応検討表

落とし込み ▶▶

最終アウトプット

① ステークホルダー向け資料
② 取締役会資料
③ 従業員（労働組合）説明資料
④ フェーズ2のプロジェクトキックオフ資料

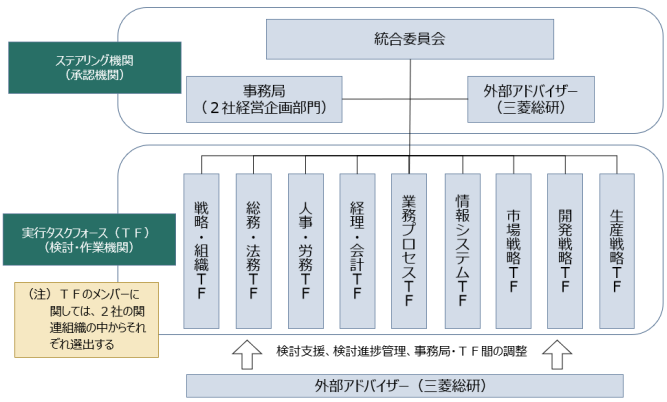
詳細設計・統合業務（フェーズ2）の詳細

フェーズ1で策定した経営統合に向けた基本方針に沿って、具体化のための取り組み（詳細設計および統合業務）をタスクフォースでの活動を中心にを行います。

［詳細設計・統合業務］

- **経営統合に向けた組織・マネジメント体制の構築**
  ※ここでの取り組み内容は基本構想にて明確化する
- **経営統合に伴う法制度面（会計・税務・庶務事項を含む）への対応**
- **経営統合以降の取組み計画策定**

［検討体制イメージ］



本資料に関するお問い合わせ先

株式会社 三菱総合研究所
✉ service@ml.mri.co.jp